# 「三幸会うずまさクリニック・ラ

看護師長 野田 和彦

病気や生活上の相談をしたい、上手く人付き合いできるようになりた い、悩みを話し合える友達が欲しい、病気を上手くコントロールしたい、 安心できる居場所が欲しい、生活のリズムをつくりたい…。

このような目的を持った方がスタッ フやメンバーさんと共に歩み、又楽し みを共有しながらリハビリテーション を行う施設です。

# 1. 活動内容

通常プログラムの他、院内イベント では夏祭り、クリスマス会、院外イベ ントでは花見、BBQ、紅葉狩り等で、 四季の心地良い刺激を楽しみます。







又、映画鑑賞、食事会、ボウリング 等「街に慣れる」よう出来るだけ外出 にチャレンジしています。ボランティ アの方々の理解も深く、洋食シェフ、 パン職人等の協力で料理指導していた だき、人気のプログラムとなっていま す。メンバーさん主体で作成する機関 紙(うずまさだより)も月1回発行し ており、1ヶ月のデイケアの様子が一 目でわかる為、配布先関係各機関から も高評価を得ております。医療(精神 科リハビリテーション)を太秦の地で 展開させていただいている施設として、 地域に根ざした取り組み(スポーツの 集い・こころほっこり) にも積極的に .参加しています。







#### 2. 登録後の経過

利用される多くの方は人付き合いが 苦手と話されます。まず「人に慣れる」 ことから始め、次に「街に慣れる」と いう方向性で支援します。

# 1) 若年層のご利用者

対人交流、特に同世代の交流を通じ て未成熟な社会的自己の成長を支援し ております。就労への意欲が高い世代 の為、就労移行支援事業所、就労継続 支援事業所等と連携し当デイケアは通 過していきます。

# 2) 中高年齢層のご利用者

就労意欲が高い方は若年層に準ずる 支援をしますが、それ以外の方につい ては居場所の提供と生活支援が主体と なります。

### 3. 連携

現在利用(登録者数75名中)されて いる関係施設として…、他施設の外来 に通院されている方40名(17施設)、 訪問看護を利用されている方40名(9 施設)、グループホーム等へ入居され ている方8名、就労系事業所併用の方 10名 (8施設)、その他保健センター、 介護系事業所、地域生活支援センター と利用連携を図り、当デイケアは支え てもらっています。

このような施設の方々とは日頃ケー スカンファレンス等の場面などで様々 な意見のやりとりがなされています。

# 4. うずまさクリニックデイケア が大切にしていること…。

#### 1)安心・安全

一番に掲げ運営しております。「う ずクリデイケアに行ったら誰ぞとお る! | と言われるような環境づくりを 大切にしたいと考えます。「誰ぞ」とは、 気の合う、馴染みの仲間とスタッフと いうことになります。自宅同様心地良 い「安心・安全」な居場所としてより 整備していきたいと思います。

# 2) 街で暮らす拠点

施設で抱え込むのでなく、メンバー さんの意思を尊重し、様々な支援サー ビスが受入れられるよう、地域の施設 を互いに行き来活用し人的交流を図る よう努力しています。そのためには、 施設間で細やかに連絡をとること、相 手の施設へ出向く事も積極的に実施し ております。医療と福祉が重なり合い、 この地「うずまさ」の中で交流を生み 出し、街で暮らす拠点としての役割が あるような気がします。

「三幸会うずまさクリニック」は、 少しづつではありますが地域の関係各 機関から信用、信頼をいただき、期待 される役割も大きくなってきました。 施設スタッフに求められるものも大き くなりますが、確実な一歩をメンバー さんと共に地域で歩んでいきたいと思 います。